

田中地域

田中1～3丁目
夕風1～2丁目
石田2～3丁目

田中食堂



元々は私達の先輩方が長年にわたり、高齢者食事サービスをされていたのですが、スタッフの高齢化がすすみだしたのと、食事サービスを受けられている人が同じ人ばかりになっているという声が上がリ、何とか改善できないかと考えていたところ、当時マスコミでも流行りだした子ども食堂に目を向けました。先輩方の中でも、まだまだ現役で食事サービスを続けたい方々もおられましたが、地域を活性し世代交流をしていかなければならないという、寛大な意見がでて新しく子ども食堂を立ち上げる運びとなりました。

その時に立ち上がった田中食堂は赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで、幅広く集えるような地域食堂にするというコンセプトを持ち2017年春から開催されるようになりました。当初は300名近くの老若男女が来店する居場所となっていました。コロナ以降は田中小学校全児童とその保護者や先生に絞って実施していますが、毎回スタッフ入れて200名近くの来店数になっています。

戦没者慰霊碑について

田中食堂の特徴としては毎回カレーライスを提供していますが、そこで使うジャガイモや玉ねぎは年に数回は自給自足で運営しています。私達の住んでいる夕風地区（三津神社横）に戦争で亡くなられた方々の戦没者慰霊碑が祀られており、その管理をする担い手も高齢化で守って行くのが困難になっていた矢先に率先して手を挙げたのが私達の田中地域活動協議会の会長である矢田会長でした。慰霊碑の周りは雑草だらけで、ままならない状態のところ、当時矢田会長ご夫婦が土を耕し、野菜を作り、草花を植えて毎日水やりをして現在に至るまで綺麗な状態を維持して下さっています。そんな温かな会長の周りにはボランティアで手伝ってくれている若者達もいます。田中食堂のスタッフは収穫時にはお手伝いに行きますが、毎日誰かしら手入れに畑に向かっていきます。



「田中福祉のひろば」



田中福祉のひろばの参加者は障がいのある方（児童も大人も）とその家族と、地域住民のコミュニケーションの場を提供しています。リズム体操やクラフト等の制作活動で、楽しみながら交流を深め、お互いを理解し、誰もが暮らしやすい思いやりのある地域を目指して活動しています。就労支援施設から帰った後はお友達が作れないや、運動不足になりがちという親御さん方の要望もあり、主に一年間通して、リズム体操メインにし、年に2回はクラフト製作の時間を取り入れています。



現在の参加者は主に田中小学校に通っているなかよしのクラスの子供たち、生活介護NPO法人あゆみ福祉会あゆみ作業所のメンバー、就労支援B型フラットのメンバーが月に1回第3火曜日に夕風会館にて、16時半から17時半まで開催しています。興味のある方はどうぞ、見学に来てくださいませ。

田中フェス



コロナ前は、はぐくみ子ども踊りがあたりまえにあって、縁日したのちに、盆踊り大会という流れでいつも開催されていました。コロナの中、制限ばかりで外で遊べなかった子供たちに、何かいい方法で楽しませてあげたいという思いから、青少年部会で話し合い、花火大会をしようという案が決まり2022年に田中フェスという名目で8月に開催する運びとなりました。この時は吹上花火のみで行い、夜空の中綺麗な花火に感動した親子さん方が多く見受けられ、私達も安堵の気持ちと共に、やれて良かったという思いで満足のいく結果となりましたが、2023年からの田中フェスは、さらにバージョンアップし、縁日、子ども踊り、花火大会という盛り沢山なフェスになりました。そのためには、かなりのスタッフが必要ですが各種団体がワンチームとなって協力し合えるところが田中の一番の魅力だと思っています。今年も田中フェスは打ち上げ花火を強化し夜空に満天の輝きで無事に終えることができました。

団長会



連合、PTA、民生委員、防災リーダー、ネットワーク委員、子ども会、老人会など、地域の各種団体（24団体）に加え、田中小学校、Asueアリーナ大阪、福祉施設の方々にも出席していただき、毎月1回情報共有会を行っています。コロナ禍ではオンライン会議システムも取り入れ、誰もが出席しやすい環境づくりにも努めました。田中地域がワンチームとなって活動する上で欠かせない重要な会議です。

田中地域活動協議会



田中
地域

田中会館老人憩の家
夕風会館老人憩の家

